

インディアン・ オーク号の銅板

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ押しのお土産品を、月替わりでご紹介。今回は、まいコレ初の水中遺跡です！

■ 出土地：北谷町 北谷沖

この銅板は、1840年に北谷沖で座礁したイギリス東インド会社のインディアン・オーク号の一部です。この事件は、琉球王府の正史『球陽』にも記載されています。銅板は写真のカティーサーク号のように、船底部に打ちつけられていたと考えられます。

銅板は海岸で採集されました。北谷町教育委員会が1984年に地元ダイバーの協力を得て実施した北谷沖の海底調査でも、中国産磁器・ガラス瓶などが回収されています。この調査は行政主体による県内初の水中遺跡調査です。

座礁地の海岸にある安良波公園には、現在インディアン・オーク号をモチーフにした船形の遊具があり、かつての歴史を今に伝えています。

カティーサーク号（ロンドン）



カティーサーク号の船底の様子

船に銅板が打ちつけられた様子

